

# 5-9

## 自然排泄への取り組み

オムツは道具 ～快適な生活を支援する～

意識改革

排泄ケア

特別養護老人ホーム はくじゅうじ 白十字ホーム

介護職 のぐち くみこ 野口 久美子

住所 東村山市諏訪町2-26-1

TEL 042(392)1375

E-mail:hakujyuuji@mua.biglobe.ne.jp

FAX 042(392)1255

URL:http://www.hakujikai.or.jp

昭和42年開設。定員170名。短期入所併設12名+空床

所在地、東村山市。同一敷地内に病院・老健・在支・訪問介護・訪問看護・包括支援センターの事業所がある。2棟5フロアに分かれ、利用者の平均年齢86歳、平均要介護度3.8。帯時分散ケアをはじめて3年。年間ボランティア5000名余。

### 〈取り組んだ課題〉

- 利用者の快適な生活を支える個別ケアの実施
- コスト削減
- 排泄ケアを切り口にその人らしく過ごしていただくサービスの提供を提案して行く

### 〈具体的な取り組み〉

- 排泄プロジェクトの立ち上げ  
(各フロアから1名の排泄担当者を出す)
- 自然排泄を促がすよう、トイレ介助を積極的に行う
- 各フロア排泄表のフォーマットを統一
- 日中活動量が少ない高齢者は夜間多尿になる傾向がある → 日中の活動の見直し
- オムツの種類を再検討し、快適でコストの低いオムツを使用する
- オムツ業者のインストラクターから正しいオムツの当て方の講習会を行う
- 家族会に経過を報告する
- ポータブルトイレを増やす
- 下剤に頼らない自然配便  
(オリゴ糖・胡麻きな粉・乳製品)
- 人間の生理現象を利用し排泄ケアを実施する  
(朝食後の排泄ケア・重力を生かした介助)
- オムツ交換ノートの活用
- 紙パンツ・カバーの代替検討  
(防水パンツ・吸収パンツ・網パンツ)

### 〈活動の成果と評価〉

- 終日オムツの割合が25.9%→13.5%
- 7ヶ月で前年度比マイナス200万円
- 皮膚トラブルの減少
- ゴミの減少
- 職員の意識向上
- 便がクリアできればカバー外せた

### 〈今後の課題〉

- 下剤を減らす
- 座位のとれない利用者の排泄ケアをどうしていくか
- 他職種との連携

### 〈参考資料など〉